

町立津嘉山地区 公民館の改築を

答 有利な補助金制度を活用し検討していく



大城 真孝 議員

問 昭和55年建設の町立津嘉山地区公民館は、現在の建築基準では耐震構造不適格建物である。改築できないか。

副町長 質問のとおり現在の耐震基準では、耐震不適格建物である。今後調査をして、地域の要望や建物の現状等を勘案する。公民館整備基準や公民館等整備事業基準要綱その他の有利な補助金制度を活用できないか、地域と協議しながら検討していきたい。

問 津嘉山地区は、今では9千人を超える人口となっている。町の補助事業がなければ公民館は造れないと思うが、町長はどう考えるか。

町長 津嘉山地区公民館は築37年になる。観光会館のような名称で有利な補助制度が活用できないかという思いがある。津嘉山独自の大綱曳きをうまく観光と結びつけ後世に保存していけないか、町としても最大限の努力を尽くしたい。

※記載内容は質問議員が要約し、広報委員で編集しており、全文は議会事務局やHP、図書館で確認できます。

幼稚園土曜預かりを問う

問 現在、土曜日も含めた幼稚園の職員体制はどうなっているか。

教育長 4幼稚園12クラスのうち、職員10人、臨時職員2人を配置している。月々金曜日までの預かり保育担当の臨時職員は11人配置している。土曜日の預かり保育は、各園とも職員2人と臨時職員2人で対応している。土曜日代替の臨時職員は1園は配置したが、他の3園はまだ配置できていない。早めに配置できるように努力する。



戦後初の大綱曳き(長刀と刀)

問 平成28年度からの4歳児受入に向けての職員体制はどのように考えているか。

教育長 平成28年度に合計9人の職員採用を要望している。
① 4歳児受入のため 4人
② 今年度退職者の補充 3人
③ クラス担当の臨時職員を本務職員にするため 2人

問 4歳児受入の目的は、待機児童解消を考えてのことだと思うが、将来は3歳まで受入を考えているのか。

教育部長 幼稚園教育は3歳児から5歳児までとなっている。平成29年度に状況を見ながら検討していきたい。

問 今年度に予定されている幼稚園の増築は、入園児の増や3歳児受入を考慮し、2階に増築できるように設計を行うべきではないか。

学校教育課長 将来、人口が増えた場合は増築できるように2階建ての計画を進めていく。